

雑踊り 花風（はなふう）

1. 花風節（はなふう ぶし）

三重城に登て 手巾持ち上げれば（みーぐしくにぬぶてい ていさじむちやぎりば）
早船の習れ 一目見ゆる（はやふにぬなれや ちゅみど みゆる）

【訳】

愛しい人を見送ろうと 三重城（みーぐしく）の丘に登り、花染手巾をそっと振りました
けれども船は早足で 一目見ることもかないませんでした

2. 下出し述懐節（さぎんじゃし しゅっくえー ぶし）

朝夕さも御側 拝み馴れ染めて（あさゆさん うすば をうがみ なりすみてい）
里や旅せめて いきやす待ちゆが（さとうや たびしみてい いちゃしまちゆが）

【訳】

朝も夕もおそばにいて あまりに深くなれ親しんで
旅立ったあの人を どんな気持ちでお待ちすればよいのでしょうか